

戦争法廃止

国民連合政府 実現を

安倍政権打倒へ野党が国政選挙協力を

日本共産党・志位委員長がよびかけ

日本共産党の志位和夫委員長は9月19日、「『戦争法廃止の国民連合政府』の実現をよびかけます」を発表しました。安倍政権が強行した戦争法を廃止する——この一致点で連合政府をつくろうと国民に訴え、そのために、国政選挙での野党間での選挙協力をよびかけたもので、画期的な提案です。その概要を紹介します。

「よびかけ」では冒頭、戦争法の採決を強行した安倍自公政権に「満身の怒りを込めて抗議」することを表明。「同時に、たたかいを通じて希望も見えてきた」ことを強調しています。一つは「国民一人ひとりが、主権者として自覚的・自発的に声をあげ、立ち上がるという、戦後かつてない新しい国民運動が広がっていること…若者たちがすばらしい役割を發揮していること」です。いま一つは、国民の声にこたえて「野党が結束して、法案成立阻止のためにたたかったこと」です。そして「このたたかいは、政府・与党の強行採決によって止まるものでは決してありません」と強調し、たたかいを発展させるために3つの提案をしています。



▲国会を包囲する国民の行動（9月14日）

1、戦争法廃止、安倍政権打倒のたたかいをさらに発展させよう

「よびかけ」は、戦争法は「憲法9条をじゅうりんして、自衛隊の海外での武力行使に道を開くもの」と指摘。この「違憲立法の存続を許すならば、立憲主義、民主主義、法の支配というわが国の存立の土台が根底から覆される」、「国民主権という日本国憲法が立脚する民主主義の根幹を破壊する」として「憲法違反の戦争法を廃止し、日本の政治に立憲主義と民主主義をとりもどす、新たなたたかいをおこそう」と訴えています。（ウラ面に続く）

野党4党そろって
訴え（9月8日）



国民と力をあわせ憲法・平和を守る新しい政治を

採決を強行した安倍政権は許せません。戦争法を廃止し、安倍政権を打倒し、立憲主義と民主主義と平和主義を貫く、新しい政治をひらきましょう。「国民連合政府」実現の先頭にたちます。



参議院（北海道選挙区）予定候補
国会相談室長・37歳

森 つねと

日本共産党

ほがし新報 ご意見・ご要望は011-750-1500 FAX011-750-1501
2015年9月号外 日本共産党北海道委員会の見解を紹介します。
発行所/ほがし新報社（札幌市東区北12条東2丁目）1965年8月10日第三種郵便物認可